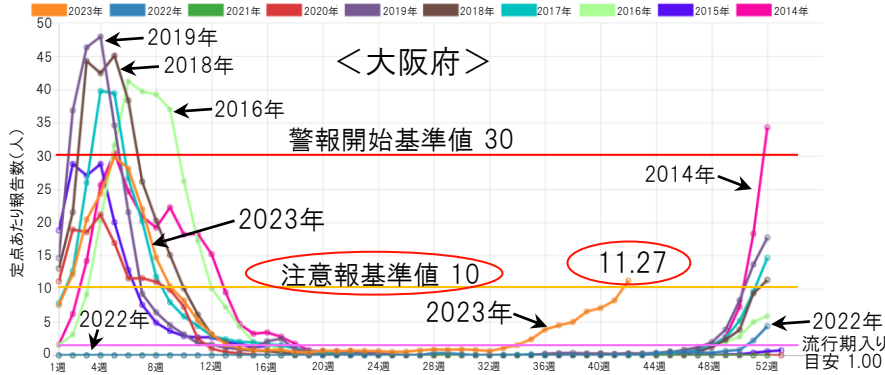


# 新・こどもと健康

No.82

2023.11.1

## インフルエンザは注意報レベルに

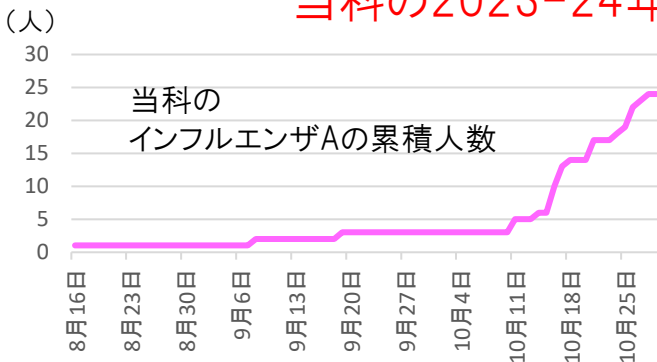


大阪府では8月14日から20日の週に流行期入りの目安となる定点あたり1.00を超えたあと、10月16日から22日の週には11.27まで悪化し、注意報基準値10を超えました。堺市では10月9日から15日の週に11.34、10月16日から22日の週には16.17まで悪くなっています。

10月16日から22日の集計で、大阪府ではインフルエンザによる公立保育所・幼稚園・小・中学校・高等学校の休校2施設、学年閉鎖延べ44施設、学級閉鎖延べ182施設となっています。

出典：大阪府感染症情報センターHP『インフルエンザ定点当たり患者数10年間の比較』『インフルエンザ施設別発生状況【2023/24シーズン 第7報 10月16日～10月22日】』

## 当科の2023-24年インフルエンザ状況



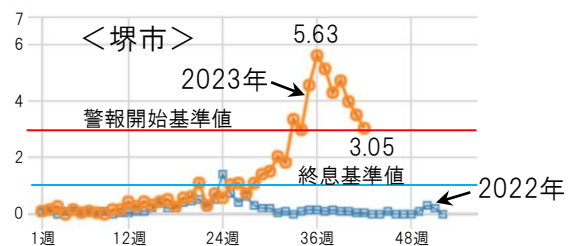
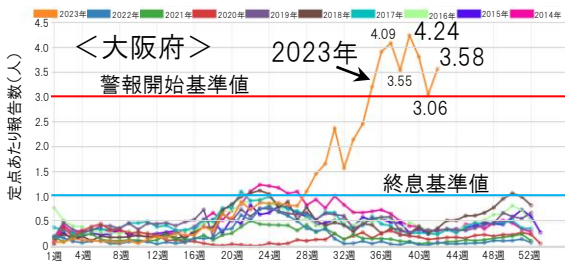
当科のインフルエンザの2023-24年シーズンとして、8月16日、9月8日、9月19日、10月7日に一人ずつおられたあと、10月11日以降に増え始め、10月28日までに25名の方が罹患されています。10月7日に1人だけインフルエンザBの方がおられました。他の24名は全員A型でした。

## インフルエンザ予防接種の予約はお早目に。残り枠は少



当科のインフルエンザワクチンの予約は、パソコン・スマホ・携帯からの専用サイトで受け付けていますが、今シーズンはご希望の方が多く、残り枠が少なくなってきました。左のQRコードからか、<https://www.shujii.com/2977771/i/> からアクセスしてください。高齢の方で、専用サイトからの予約がご面倒という場合は、診療時間内にお電話でお申し込みください。詳しい予約方法は当科ホームページをご覧ください。

## アデノウイルス感染症はまだ警報発令中



アデノウイルス感染症(プール熱)は大阪府で8月28日の週に警報開始レベルの目安の3を超えたあと、9月25日の週に4.24まで悪化しました。まだ3.00を切らず、警報レベルのままです。堺市でも8月14日の週に警報開始レベルの目安の3を超えたあと、9月4日の週に5.63まで悪化しました。その後段々と下がりつつありますが、依然3.00を切らず、警報レベルのままです。

出典：大阪府感染症情報センターHP『咽頭結膜熱定点当たり患者数10年間の比較』『ブロック別 咽頭結膜熱流行状況』

# 五種混合ワクチン(四種混合+ヒブ)の製造販売承認がされました

2023年3月27日に田辺三菱製薬の『ゴービック 水性懸濁注シリンジ』が、同年9月25日に明治ホールディングスの『クイントバック®』が、国内製造販売承認を取得しました。百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎(ポリオ)の四種混合に、ヒブワクチンが追加されたものです。厚生労働省により2014年に定められた「予防接種に関する基本的な計画」において開発優先度の高いワクチンの一つに選定されていました。2024年4月以降に定期接種として使われ始める方向性のようです。

出典：田辺三菱製薬HP『百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ・Hib 混合ワクチン「ゴービック水性懸濁注シリンジ」製造販売承認取得のお知らせ(2023年3月27日)』、明治ホールディングス株式会社HP『百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ・Hib 混合ワクチン「クイントバック®」水性懸濁注射用』の国内製造販売承認取得のお知らせ(2023年9月25日)』

## 大人の風しん第5期定期接種の抗体検査・予防接種、受付中

2023年4月から四種混合ワクチンが生後2か月で可能に  
 高齢者の成人用肺炎球菌ワクチンの助成は今年度中まで？  
 2023年4月から9価子宮頸がんワクチンを定期接種で使用可能に

当科は大阪府の外来対応医療機関です

2023年2月からの診療時間帯(予告なく変更する場合があります)

9:00～10:00	感冒症状の全くない方専用(予約不要)
10:00～12:00	何らかの症状のある方(事前予約必要)
17:00～17:30	感冒症状の全くない方専用(予約不要)
17:30～19:00	何らかの症状のある方(事前予約必要)

※予約された方は無断キャンセルしないでください。  
 他の方の受診機会を奪っています。

想定される感冒症状の全くない方は 乳児検診、小児一般予防接種、新型コロナワクチン接種、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種、気管支喘息等の慢性疾患の方の定期受診、皮膚疾患、便秘症など  
 感冒症状は、発熱、せき、のど痛、はなみず、頭痛、疲労感、筋肉痛、嘔吐、吐き気、下痢、めやに、などを指します。

## 当科のコロナ抗原検査の1週間毎の陽性率

検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率		
R4.2/2~	10	3+0	30%	5/23~	14	3+0	21%	9/12~	26	3+1	15%	R5.1/2~	14	2	14%	4/24~	10	0	0%
2/7~	21	10+4	56%	5/30~	8	0+0	0%	9/20~	7	2+1	38%	1/9~	12	3	25%	5/1~	5	0	0%
2/14~	11	4+0	36%	6/6~	9	1+0	11%	9/26~	23	6+1	29%	1/16~	33	6	18%	5/8~	8	0	0%
2/21~	5	3+0	60%	6/13~	3	0+0	0%	10/3~	17	3+0	18%	1/23~	22	3	14%	5/15~	20	2	10%
2/28~	21	13+1	64%	6/20~	10	1+0	10%	10/11~	16	3+0	19%	1/30~	22	2	9%	5/22~	11	2	18%
3/7~	14	4+3	41%	6/27~	8	1+0	13%	10/17~	18	4+0	22%	2/6~	17	0	0%	5/29~	4	0	0%
3/14~	14	6+2	50%	7/4~	11	4+1	42%	10/24~	11	1+0	9%	2/13~	3	0	0%	6/5~	7	0	0%
3/21~	13	6+1	50%	7/11~	31	14+0	45%	10/31~	11	0+0	0%	2/20~	6	0	0%	6/12~	11	2	18%
3/28~	10	0+0	0%	7/18~	36	13+0	36%	11/7~	14	2+0	14%	2/27~	9	0	0%	6/19~	14	1	7%
4/4~	9	1+0	11%	7/25~	47	13+6	36%	11/14~	10	3+0	30%	3/6~	9	1	11%	6/26~	7	2	29%
4/11~	18	2+0	11%	8/1~	23	12+4	65%	11/21~	19	1+0	5%	3/13~	11	0	0%	7/3~	16	3	19%
4/18~	14	3+0	21%	8/8~	15	6+3	50%	11/27~	18	5+0	28%	3/20~	9	0	0%	7/10~	21	1	5%
4/25~	21	7+3	42%	8/16~	20	11+6	59%	12/5~	14	3+0	21%	3/27~	13	0	0%	7/18~	22	7	32%
5/2~	9	1+0	11%	8/22~	27	8+2	34%	12/12~	19	3+0	16%	4/3~	8	0	0%	7/24~	35	13	37%
5/9~	18	2+2	20%	8/29~	10	4+2	50%	12/19~	17	6+0	35%	4/10~	10	0	0%	7/31~	23	7	30%
5/16~	10	1+2	25%	9/5~	18	3+2	25%	12/26~	7	1+0	14%	4/17~	12	0	0%	8/7~	26	7	27%

当科の週別のコロナ抗原検査の件数と陽性者数、陽性率です。陽性率は(陽性者数+みなし陽性者数)/(抗原検査数+みなし陽性者数)で計算しています。8月21日の週の陽性率が55%が高く、そこから段々と低下し、10月2日の週にまた陽性率32%で8名、10月9日の週には急に0名となったあと、10月16日と10月23日の週に2名ずつ陽性の方がいました。

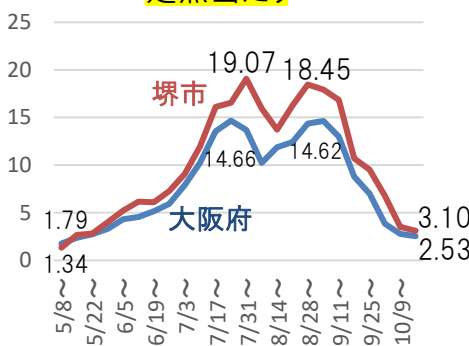
## 新型コロナウイルス感染症の定点報告、第9波ピーク時の約1/6に

定点報告数

大阪府	堺市	大阪府	堺市		
5/8~	515	39	7/31~	4,093	534
5/15~	686	78	8/7~	3,078	446
5/22~	797	82	8/14~	3,576	384
5/29~	968	117	8/21~	3,744	455
6/5~	1,256	152	8/28~	4,361	535
6/12~	1,324	179	9/4~	4,458	520
6/19~	1,506	177	9/11~	3,961	488
6/26~	1,754	211	9/18~	2,677	310
7/3~	2,330	263	9/25~	2,148	276
7/10~	3,036	346	10/2~	1,179	196
7/17~	4,028	467	10/9~	849	102
7/24~	4,399	480	10/16~	771	90

大阪府で約305、堺市で約29医療機関

定点当たり



新型コロナウイルスの定点報告は10月16日からこの週で大阪府では2.53、堺市では3.10まで順調に減っており、ピーク時の1/6程度になっています。

出典：大阪府感染症情報センターHP『新型コロナウイルス感染症 発生状況 2023年 第19週~第42週』

11月・担当医の変更

なし